

10 がっひかりごう

令和 4 年 10 月 1 日 輝 保 育 園

涼しい秋風に、高く澄んだ空。大きく深呼吸したくなるような、気持ちの良い季節です。戸外遊びでは、子ども達が帽子を片手に駆け回り、時々、「あ〜」と残念そうな声が聞こえてきます。何をしているのかと見ていると、とんぼをつかまえようと一生懸命おいかけています。バツヤやダンゴムシを見つけては声があがり、戸外での活動がとても充実しています。昼夜の気温差が大きい季節でもあるので、健康面には十分に気をつけていきたいと思えます。

【【 さつまいもの日 】】

「栗（九里）より（四里）うまい十三里とはサツマイモの異名です。

江戸から十三里（約 52 km）離れたところにある川越のサツマイモがおいしかったことから生まれた言葉です。

そこから、埼玉県川越市の市民グループ・川越いも友の会がサツマイモが旬でもある 10 月に、この日を記念日に制定しました。



=== ナース・レポート ===

【10 月 10 日は目の愛護デーです】

2 つの 10 を横に倒すと、眉と目の形に見えることから、10 月 10 日は目の愛護デーとされています。

私たちは情報を得るための 8 割を目に頼っています。乳幼児時期は、子どもの目がもっとも育つ時期です。

「見る力」を育てるポイントとして、明るさ・暗さのメリハリのある生活を送る事。

また全身運動は眼球、視神経、脳の発達を促すため、広い空間で体と目を動かす機会を得ることが重要になってきます。

子どもは目にトラブルがあっても、自分では気付くことができず、そのままになってしまうことがあります。

普段から、子どもの様子を観察して「おかしいな？」と思うことがあったら、専門機関を受診しましょう。

早期発見・早期治療をすることで、治るケースもたくさんあります。

また、長時間のテレビゲームは控え、照明の明るさ、絵本を読む時の姿勢など生活を見直し、目にいいと言われるビタミンが含まれた緑黄色野菜を食べて、目を大切にしていきたいです。

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭の取り組み ☆☆

生活習慣は育ちの基礎

家庭生活（尊敬・感謝）

物を与え過ぎたり、世話をし過ぎないようにしましょう！

お菓子や飲物、おもちゃなど、物の与え過ぎは、欲しいものを得るために努力する気持ちや手にした時の感動、物を大切にすることを忘れさせたり、与えてくれる人への感謝の気持ちさえ失わせてしまいます。

また、与えられることが当たり前になると、与えられないと腹がたったり、悲しくなったり、我慢のできない子どもになってしまいます。

欲求だけが風船のようにどんどんふくらみ、耐性がいつまでたっても育たないことになります。

豊かな時代だからこそ物の与え方が適正かどうか見直してみましょう。

また、世話のし過ぎも同じです。



「教育力向上福岡県民運動ホームページ」より抜粋

◇ 運動会 ◇

10 月 29 日（土）に 3 才以上児の運動会を予定しています。

子ども達は本番に向けて、頑張っています。

ご家庭でも、十分に休息を取らせていただき、励ましの声をかけていただきますようお願いいたします。

= 10 月の行事予定 =

- 3 日（月） 歯科検診
- 6 日（木） 避難訓練
- 12 日（木） 内科検診
- 21 日（金） 幼年消防クラブ（5 才児のみ参加）
- 21 日（金） お誕生会・身体測定
- 29 日（土） 運動会（3、4、5 才）

こどもものようす

たんぽぽぐみ
0 才児



歩くことや伝い歩きなど動くことを楽しんでます。自分の足で立ち、自分の意思で動けるようになると、自発的な探索活動によって、周囲の世界に好奇心や興味を持ちながら日々学びや発見を重ねていきます。言葉で気持ちを伝えることはまだ難しいので、うまく意思表示ができないもどかしさから泣いてしまったり、自分の思い通りにならなかったり、要求が伝わらないとその失望感から泣きわめたりします。手足をバタバタさせて駄々をこねたり、かんしゃくを起こしたりすることも多く見られます。気持ちを汲み取ることは難しいですが、何がしたいのか気持ちを聞き出し、言葉にしてあげると落ち着くことができます。行動に選択肢を与え、子ども自身が決めることで納得するようです。自立に向かうための大切な成長過程なので、一緒に優しく見守っていきましょう。

たんぽぽぐみ
1 才児



天気の良い日には、たんぽぽ園庭で遊んでいます。追いかけっこを楽しんだり、鉄棒や滑り台で遊んだり、笑顔いっぱい過ごしています。滑り台の階段を登るのがスムーズになったり、鉄棒に長くぶら下がるようになったりと、色々な動きをしながら、沢山体を動かして遊んでいます。また、靴や靴下を履くことにも挑戦しています。黙々と頑張って履けるようになってきたり、何とか自分で履こうと試行錯誤したりと、自分でやってみようという気持ちが確実に育ってきています。子どもの気持ちに寄り添い、見守ることを大切に関わっています。暑かったり、少し涼しくなったりして、体調管理が難しい季節です。よく食べ、よく遊ぶことはもちろん、休息を取り、体を休ませることも大切にしながらこの季節を乗り切っていきましょう。

すみれぐみ
2 才児



ずいぶん涼しくなり、園庭へ行くと、コオロギやバツヤを見つけ、目を輝かせ追いかけています。また、トンボを見つけた子どもが、みんなで歌った「トンボのめがねを」を思い出し、「あれ？ トンボ眼鏡していないね」と、おもしろいつぶやきも聞かれました。栗にも興味津々で、「これ何？」と目を大きくさせ観察しています。秋の自然に触れ、秋の訪れを全身で感じている子ども達です。今月は、散歩も計画しています。散歩を通して、より多くの自然に触れ、季節の変化や様々な気付きを感じて欲しいと願っています。2 才児の生活も半分が過ぎました。自立心も芽生え、様々なことに意欲的に取り組む姿が見られます。子ども達の「自分でやってみよう！」という思いを大切に、一つでも多くの「出来た！」という経験を増やし、自信につながるよう見守っていきます。

ちゅうりっぷぐみ
3 才児



「クラスみんなで遊ぶ楽しさを知る事」、また「協調性を養う事」をねらいとしてルールのある遊びを取り入れ、保育内容を「個人」から「集団遊び」へと次のステップに進めました。始めは個人の好奇心が勝り気持ちも行動も全てがばらばらですが、ルールを守る事で楽しさが倍増する事を知ると、子ども同士でルールを教え合う行動が必ず表れます。その行動の出現を楽しみに待っていたところ、今、まさに「教え合う」姿が見られるようになってきました！ここまできると子ども達の学びは著しいものです。教える側は言い方がきつすぎると相手を怒らせてしまうため優しく伝える事を学び、教えてもらった子は相手の意見を聞き、自制心を働かせ行動の修正を行っています。「みんなで遊ぶ楽しさ」が頼もしい土台となって、子ども達の学びと成長を支えています。

ばらぐみ
4 才児



9 月に入って戸外遊びも多く取り入れることができました。ばら組では、関心を持っている子たちを中心に虫の観察をしている姿が多くありました。観察をするために園庭に図鑑を持ち出したり、虫かごに入れて室内に持ち帰り友達と覗いて見たり、虫の観察を工夫する力が身につくにつつまると感じました。また室内遊びでは鉛筆への関心が続いています。9 月に入ってお手紙ごっこが加わったことで、文字や鉛筆の持ち方への関心もさらに高まっています。日々それぞれのペースで鉛筆や文字に親しんでいます。10 月も運動会の練習に取り組んでいます。音楽に合わせて体を動かす時間には、苦手な子も笑顔を見せてくれるようになりました。ばら組のみんなで運動会を作りたいと意気込んでいます。皆と一緒に作り上げる達成感を感じられるよう活動していきます。

ひまわりぐみ
5 才児



運動会に向けた活動が本格的に始まり、鼓隊、組体操、遊戯に意欲的に取り組んでいます。「今日は練習する？ 楽しいよね」と話す姿がよく見られ、保護者の方々に見ていただくことができるので、張り切っています。特に組体操は互いの信頼関係がなければ成り立たない種目です。まだ不安な表情も見られますが、互いに教え合ったり声をかけ合ったりしながら取り組んでいます。運動会への取り組みを通して自分の得意な活動を力一杯頑張る姿、苦しい活動にも目当てを持って挑戦する姿、できるようになった達成感、友だちを応援する気持ちなどさまざまな思いを経験し、心が少しずつ成長しています。それぞれの力を十分に発揮しながら、みんなで取り組む満足感や充実感を味わい、年長組としての自信と誇りが育つ運動会になるよう願っています。